

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公開番号】特開 2000-264918 (P2000-264918A)

【公開日】平成 12 年 9 月 26 日 (2000.9.26)

【出願番号】特願 2000-70400 (P2000-70400)

【国際特許分類】

**C 0 8 F 10/00 (2006.01)**

**C 0 8 F 2/34 (2006.01)**

**C 0 8 F 4/642 (2006.01)**

**C 0 8 F 4/645 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 F 10/00

C 0 8 F 2/34

C 0 8 F 4/642

C 0 8 F 4/645

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つの反応帯域中で 40 ~ 120 の温度および 1 ~ 100 バールの圧力で気相から重合させることによる、チーグラ-ナッタ触媒系を用いた  $C_2 \sim C_8$ -アルク-1-エンの重合法において、  
反応帯域中の圧力および温度を、圧力-温度線図中でこれらのパラメータから形成される運転点が、それぞれの反応混合物の露点曲線の下方 0.2 ~ 5 バールの間隔で存在し、露点曲線を上回って  $C_2 \sim C_8$ -アルク-1-エンの凝縮が生じるように調節し、反応帯域が攪拌型粉末床反応器であり、チーグラ-ナッタ触媒系がチタン含有固体成分 a) に加えて、有機アルミニウム化合物 b) および電子供与性化合物 c) の形の共触媒をも有することを特徴とする、 $C_2 \sim C_8$ -アルク-1-エンの重合法。

【請求項 2】 圧力および温度から形成される運転点が、圧力-温度線図において、それぞれの反応混合物の露点曲線の下方 0.5 ~ 2.5 バールの間隔で存在する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 プロピレンのホモポリマーの製造に使用する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】 プロピレンと、副次的な含分の他の  $C_2 \sim C_8$ -アルク-1-エンとのコポリマーの製造に使用する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】 重合を 40 ~ 100 の温度で実施する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】 重合を 10 ~ 50 バールの圧力で実施する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】  $C_2 \sim C_8$ -アルク-1-エンの形成されたポリマーのモル質量を、調節剤としての水素により調節する、請求項 1 記載の方法。

【請求項 8】  $C_2 \sim C_8$ -アルク-1-エンの重合を、2 つの直列接続した反応器で行う、請求項 1 記載の方法。